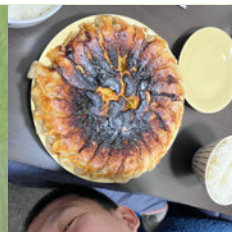


集いの水辺 手賀沼の変化



山川 浩平
建築設計計画 | 研究室

コンセプト

一日中手賀沼で過ごす。

人生生きていく中で、水辺というものを感
じることがなくなってきたと思うので、それ
を感じれるようにするため今回の計画を考え
ました。そこで、手賀沼という沼が今とても
汚い状態で周辺の市がきれいにしようとして
いるので、手賀沼の現在の魅力やなくなって
しまった魅力を再生をして観光に来た人や昔
から利用している人、に楽しんでもらえるよ
うな場を造り出したいと思い設計をしました。

プログラム

まず初めに、手賀沼はとても広く6.5kmあり
その周辺には畑が広がっていたり、住宅街が
あるそんな場所を楽しんだり、のんびりとす
る場所が少なく、手賀沼で一日過ごすとい
うことが無いのが現状になっているので、今
ある道の駅を中心に私が設計した場所や手賀
沼の観光できる場所眺めのいい場所を移動
して一日中楽しむというプログラムを考えまし

デザイン

手賀沼の主と呼ばれている「ウナギ」のよ
うにうねる建築。

遊びや釣り、船の三つに分ける建築。

ハスの群生に水の通り道のような建築。

大きい口を開ける建築。

